

● サポート・センテンスの特徴

サポート・センテンスは、主題についての詳細を述べる文で、色々なパターンがあります。このWEEK 1 DAY 1では、時系列で物語る **narrative** という書き方で書かれた文を見ていきます。

● コンクルーディング・センテンスの特徴

コンクルーディング・センテンスは、パラグラフ全体をまとめます。書き方は2つあり、(1) トピック・センテンスの言い換え、あるいは (2) 支持文の要約 です。

また、パラグラフを書く時は、下の図のような形式 (**format**) で書きます。

The diagram illustrates the format for a writing assignment. At the top left, it says 'Taro Eiken Writing Assignment 1'. The main title is 'The Life of Benjamin Franklin'. The text is followed by several lines of placeholder text (XXXXX). Callouts provide the following instructions:

- 必要に応じて、左上に自分の名前や所属しているグループなどが分かる番号などを入れる
- タイトルを中央に置く (**centering**)。タイトルはルールに応じて単語を大文字に
- 四方に2.5センチの余白 (**margin**) を入れる
- フォントは、Times New Roman 12 pt で、行間を 1.5 (**double-space**) に設定する
- 行の途中で文が終わっても、行を変えない
- Double-space の場合、次のパラグラフとの間は特に広く開けない。Indentation が新しいパラグラフを意味する
- パラグラフの1行目は3~5 space 下げる (**indentation** という)

Task 1

次のパラグラフは、アメリカの建国の父とされているベンジャミン・フランクリンの一生を記述したものです。これを読み、時間に関する語句に下線を引きなさい。

The Life of Benjamin Franklin

Benjamin Franklin, one of the Founding Fathers of America, was a very influential person in many different fields. Benjamin Franklin was born in Boston, Massachusetts on January 17, 1706. His father, a candle-maker, could only afford his son's schooling for about two years. At age 10, Benjamin stopped attending school, and afterwards, he taught himself by reading books. In 1718, when he was 12, he became an apprentice to his brother James and learned the printing trade. However, a few years later, he had to leave Boston because of a rift between them. In 1723, at age 17, he moved to Philadelphia and was hired as a printer. In 1727, he formed the Junto, a study group of young men who met regularly to read books. The group later helped to establish the first lending public library in America. In 1728, he started his own printing house, which published *The Pennsylvania Gazette* and *Poor Richard's Almanac*. Meanwhile, he joined the local Masonic Lodge, the basic organizational unit of Freemasonry, and was elected Grand Master in 1734. In the same year, he bought property for his print shop, which later housed a post office as well. In 1746, he started extensive electrical experiments, and in 1752, conducted the famous kite experiment, which eventually led to the creation of the lightning rod. Between 1757 and 1762, he was in England as the agent for the Pennsylvania Assembly to improve colonial situations. In 1776, he served on the committee that drafted the Declaration of Independence from England. On April 17, 1790, he died at the age of 84. Benjamin Franklin is still remembered today because of what he achieved in so many different fields in human history.

Founding Fathers (アメリカの) 建国の父 apprentice (n) 見習い工, 弟子
printing trade 印刷業 rift (n) 仲たがひ, 不和 junto (n) (特に政治的目的を持つ) 私党, 秘密結社
gazette (n) 新聞 almanac (n) 暦, カレンダー Masonic Lodge 秘密結社フリーメイソンの支部
lightning rod 避雷針 Declaration of Independence 独立宣言

Wrap-up

主語に you, we, they, people などを用いると、親しみがある印象を与える

一般的なこと・現象などを言いたい時、主語に It を使ったり、主語を伴わない受動態を使ったりすると、主語が不明になり読み手に混乱を与えますし、英語らしい文ではありません。その場合、書く内容と自分の立場によって、people や we などを使い分けると、読み手にとって親しみが持てる文になったり、より説得力が増したりします。

ex. We tend to speak in a loud voice when we feel confident.

People tend to speak in a loud voice when they feel confident.

上記の2文は両方とも、「(一般的に)人は」と言っていますが、we にすると、自分と読み手を含めたニュアンスになり、親しみが持てます。逆に、people だと、視点が自分より外にいき、「人間というもの」のように俯瞰した言い方になります。

無生物主語構文のおさらい

無生物主語の構文は、原因・理由・手段等を表す無生物を主語にして、「(人)を～させる、～する」という意味の文を作ります。日本語にはない形なので、英語を日本語に訳す場合には戸惑うこともありますが、文章に変化を持たせるには使いこなしたいものです。

● 無生物主語構文が表す内容とよく使われる動詞の例

- ① 原因や理由を表す場合 → よく使われる動詞 **make / keep / prevent / enable** など

ex. The storm kept us from starting.

訳 嵐のため、出発が遅れた。

- ② 手段や方法を表す場合 → よく使われる動詞 **bring / take / prove / teach / cost** など

ex. Climbing a mountain without preparation can cost you your life.

訳 準備もなく山に登ることは、あなたの命を危うくする可能性がある。

WEEK 2

動詞

第2週は英語の動詞について学習しましょう。

Warm-up

- 次の動詞と同じ意味の表現を①～④から選びなさい。

1. cancel
2. overcome
3. omit
4. investigate

① get over ② leave out ③ look into ④ call off

○ 生き生きとした文を書くために重要な「動詞」

文の4要素である主語、動詞、補語、目的語を考えてみると、どんな英文でも、動詞のないものはありません。つまり、動詞が英文の要だと位置づけることができます。そして、動詞は、文にふさわしいものを選択して使うことが大切です。

多くの日本人学習者は、書く英文に力強さをあまり感じさせないという弱点がありますが、その理由の一つとして、動詞が上手に使いこなせないということが挙げられます。英単語一つひとつの細かな意味の違いを知るためには、英英辞典を引くことが有効です。英英辞典を引いて、できるだけ英文をたくさん書いて、コツをつかんでください。

答えは、1. ④ 2. ① 3. ② 4. ③ です。英文では、同じ表現の繰り返しを嫌いますから、このような句動詞の使い方を身につけておくことは、読むためのみならず、書くためにも大切です。ダイナミックな動詞の使い手を目指しましょう。

Exercise 2

日本文を、句動詞を使って英文にしてください。

Answer & Guidance

1. ジェーン (Jane) は約束を破ったと私を責めた。
→ ヒント () for

2. 驚いたことに、先生は私の遅刻を許してくれた。
→ ヒント () for

3. 私は、その仕事に応募した。
→ ヒント () for

4. その規則は皆さん全員に適用されます。
→ ヒント () to

5. 犯罪を目撃したら、できるだけ早く警察に通報するべきだ。
→ ヒント () to

6. あなたは彼の優しさにつけこむべきではありません。
→ ヒント () upon

7. 私たちの部署では、営業の職員を追加で10名雇うことにしました。
→ ヒント () on

8. 彼女はいつも近所の人を中傷している。
→ ヒント () down

1. Jane blamed me for breaking my promise.
blame ~ for ... で「…のことで~を責める」。cf. blame ~ on (人)「~を(人)のせいにする」
2. Surprisingly, my teacher excused me for being late.
許す内容や理由は「for + 名詞」で表します。praise, scold, apologize などの「賞罰」「謝罪」に関する動詞は、多くの場合、for で理由を表します。
3. I applied for the job.
動詞 apply は意味が多く多様な状況で使いますが、apply for で「志願する」「申し込む」という意味です。混乱しがちな、4. の apply to との違いを押さえておきましょう。
4. The regulation applies to all of you. (applies to you all も可)
「適用する」の場合は apply to です。apply to で「志願する」という意味もありますが、その場合は基本的に、apply to の後に「場所」がきます。
ex. I will apply to Tokyo University.
直接訪問して、書類を応募する場合は to です。3. で見たように、apply for は、後ろに「仕事」等がきて、「応募する」等の意味で使うことが多いです。
5. If you ever witness a crime, you should report it to the police as soon as possible.
witness は、動詞で「目撃する」「証言する」という意味があります。「通報する」は report to を使います。
6. You should not impose upon his kindness.
impose upon で「つけこむ」「(好意などに)甘える」の意味。impose ~ on ... なら、「~を…に負担させる [責任を負わせる]」。自動詞として impose を使う場合は、「無理強いする」意味となります。
その他、I don't want to impose on you. は、招いてくれた相手に、「長居はしません」と丁寧な場合の表現。このように、他動詞と自動詞の表現の両方がある場合もあるので、覚えておきましょう。
7. We decided to take on ten additional sale clerks in our department.
employ と同意で take on が使えます。「(仕事などを)引き受ける」等、他の意味も多いので、辞書で確認しましょう。
8. She is always running down her neighbors.
run down で criticize と同意。当たり前ですが、down がつく句動詞には良いイメージの表現が少ないです。
ex. put down 「けなす」「恥をかかせる」 / crack down 「厳重に取り締まる」 / come down (in the world) 「落ちぶれる」
ex. Mie has come down in the world since her company went bankrupt.